

山口県がん診療連携拠点病院／山口大学医学部附属病院主催 「緩和ケア研修会」・「研修会協力者養成のための研修会」の開催報告

腫瘍センター 副センター長 吉野茂文

平成21年8月8日(土)・9日(日)に、山口大学医学部附属病院主催緩和ケア研修会・研修会協力者養成のための研修会が、ウェルサンピア宇部で開催されました。近年がんに対する社会的関心がますます高まる中、がんに対する「緩和医療」の重要性にも注目が集まっています。この研修会は、すべてのがん診療に携わる医師が緩和ケアについての基本的な知識を習得し、治療の初期段階から緩和ケアが提供されるようにすることを目的として行っています。今回は、宇部・小野田医療圏の緩和ケア研修会に加えて山口県における研修会協力者養成のための研修会も兼ねて行い、宇部・小野田医療圏の先生方のみならず多くの地域がん拠点病院の先生方にも参加していただきました。

研修会は、松崎病院長の挨拶に続き、川井研修会主催責任者を中心として進行されました。研修会のファシリテーターとして、山口赤十字病院の末永先生、県立総合医療センターの中村先生、ペインクリニック山本医院の山本先生にご協力を頂き、また山口大学医学部附属病院から、麻酔科蘇生科の川井先生、精神科神経科の江頭先生、松原先生、MSWの高砂さん、腫瘍センターの吉野がファシリテーターとして参加しました。2日間にわたり、疼痛、呼吸困難、消化器症状、精神症状の緩和ケアやコミュニケーションスキルに関して講義やロールプレイが行われ、時折、笑い声などもあり、和やかな雰囲気のもと大盛況に終わりました。

地域がん拠点病院の先生方におかれましては、各医療圏において同様の研修会を開催して頂かなければならないのですが、この研修会への参加で多くノウハウを修得されたと思われ、「協力者養成のための研修会」としても成功裏に終わることができました。

